

蕾切りダリアは通常切りとほぼ同等の日持ちを確保できる

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

1 部門名

花き－ダリア

2 担当者名

熊坂京、鈴木宏和

3 要旨

ダリアの切花の輸出に当たり、日持ちが短く、花卉が傷みやすい等の課題を解決するため、切り前時期を蕾切り（花卉着色未展開）とすることにより、8分咲から花卉の萎れが50%に達するまでの日持期間は、6～7分咲で収穫した通常切りとほぼ同等期間を確保できた（表1）。

- 出荷調製は、採花後、球根切花用前処理剤による前処理を実施した。60 cmに調整した切り花を5本/束にまとめスリーブで包装、切り口には保水材を装着し輸出用横箱へリパック後、空港へ輸送した。出荷から店舗到着までの期間は約2日間であった。
- 日持ち期間は、「黒蝶」及び「ポートライトペアビューティー」では各切り前で8日以上確保でき（図1）、「魁の涙」、11月輸出を除いた「ピーチマカロン」でも通常切りとほぼ同等の日持期間を確保できた（表1）。販売店からは、蕾切りダリアは花卉の傷が通常切りより少なく、日持ちや品質に問題はないとの意見が寄せられた。

表1 ダリアの切り前の違いと日持ち期間（2022）

品種	時期	切り前	日持ち期間 ¹⁾ (日)
魁の涙	9月	蕾切り	9.2 ± 1.8
		通常切り	6.0 ± 0.6
	11月	蕾切り	9.4 ± 0.8
		通常切り	8.4 ± 0.5
ピーチマカロン	9月	蕾切り	9.2 ± 4.0
		通常切り	6.4 ± 1.4
	11月	蕾切り	7.2 ± 3.0
		通常切り	10.2 ± 0.7

1)調査は、8分咲から頭花全体の舌状花卉のうち、50%以上が萎凋または、褐変で期間終了とした。平均値±標準偏差。

※サンプルは中国北京市内にある店舗へ輸送し、現地スタッフに毎日撮影を依頼し、画像をもとに調査を実施。

調査：2022年9月29日～、11月3日～

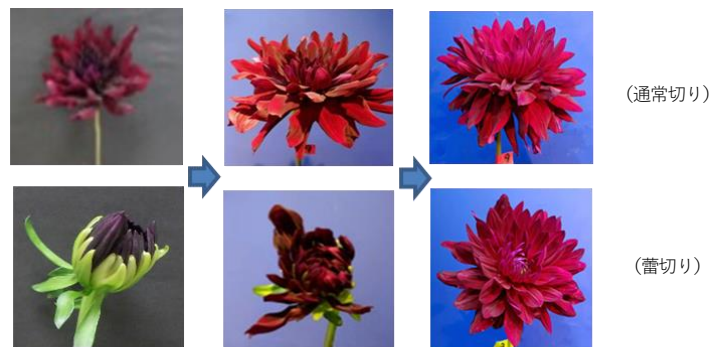


図1 ダリアの切り前の違いと開花状況の変化

(黒蝶：左11月7日、中央11月10日、右11月15日(2021))

4 成果を得た課題名

- 研究期間 令和3～令和4年度
- 研究課題名 ダリアの鮮度保持技術の開発〔園芸グローバル産地育成強化事業〕

5 主な参考文献・資料

- 「ダリア、切り花の日持性向上対策技術2017」（福島県農業総合センター）
- 「開花調節技術を活用したつぼみ輸送体系の実証事業実施報告書 ダイジェスト版」（農研機構野菜花き研究部門）